

健康福祉部長兼福祉事務所長（村井志朗君）

病児保育体制の充実についてお答えいたします。

市の病児保育センター及び鶴来地域にありますくらやま保育園あじさいルームの利用状況につきましては、病児保育センターの平成 26 年度の利用者は、年間で延べ 611 人、1 日当たりの平均利用数は 2.5 人、平成 27 年度につきましては、年間延べ 582 人で、1 日当たりの平均利用数は 2.4 人となっております。

また、平成 27 年度より設置されましたくらやま保育園の昨年度の利用者は、年間延べ 69 人で、1 日当たり平均 0.3 人となっております。

施設の利用手続につきましては、お子さんが発病し、施設を利用する際には、医療機関の診療情報提供書を添えてお申し込みいただいております。

この診療情報提供書は、病気のお子さんを安全に保育する際には必要な情報であり、これまで利用者からの苦情はなく、適切に利用していただいていると考えております。

次に、美川地区での病児保育センターの設置につきましては、ことし 6 月に美川地区の社会福祉法人より、病児保育施設設置に向けての相談があり、将来的に環境が整えば、病児保育の意向があることを伺っております。

現状では、病児保育センター及びくらやま保育園の利用実績からは、需要は満たされているものと考えておりますが、今後の利用状況や地域事情等により必要性が認められれば、将来的に病児保育施設の設置についても検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。